

世界遺産登録推進国際フォーラム2014

立山砂防と世界の防災遺産

TATEYAMA CALDERA
SABO

2014年 **11月3日(祝)**

14:00~17:30 (開場 13:30)

インテックビル タワー111

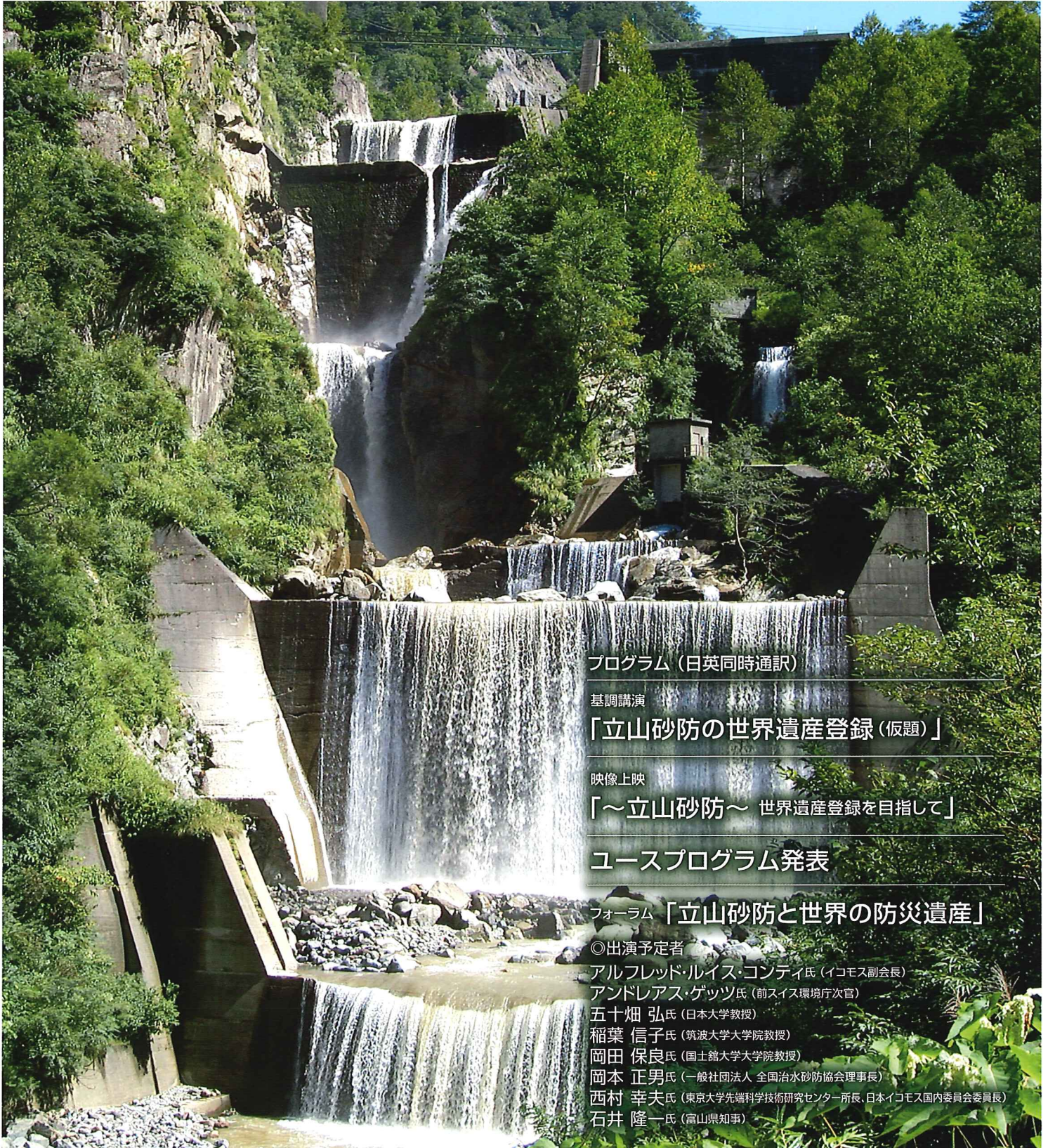
3F スカイホール (富山市牛島新町5番5号)

定員400名(要事前申込)

入場無料

<http://sabo-toyama.net>

立山砂防展 4Fスカイギャラリーにて同時開催[入場無料] 10:00~18:00



プログラム (日英同時通訳)

基調講演

「立山砂防の世界遺産登録(仮題)」

映像上映

「～立山砂防～ 世界遺産登録を目指して」

ユースプログラム発表

フォーラム「立山砂防と世界の防災遺産」

◎出演予定者

アルフレッド・ルイス・コンティ氏 (イコモス副会長)

アンドレアス・ゲッツ氏 (前スイス環境庁次官)

五十畑 弘氏 (日本大学教授)

稲葉 信子氏 (筑波大学大学院教授)

岡田 保良氏 (国士舘大学大学院教授)

岡本 正男氏 (一般社団法人 全国治水砂防協会理事長)

西村 幸夫氏 (東京大学先端科学技術研究センター所長、日本イコモス国内委員会委員長)

石井 隆一氏 (富山県知事)

◎主催/富山県世界遺産登録推進事業実行委員会 (事務局)富山県知事政策局、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室

後援/公益社団法人砂防学会、一般社団法人全国治水砂防協会、立山砂防女性サロンの会、公益財団法人立山カルデラ砂防博物館、立山神通砂防スペシャルエンジニア、NPO法人富山県砂防ボランティア協会、富山県治水砂防協会、一般社団法人全国治水砂防協会立山支部、一般社団法人富山県建設業協会、一般社団法人斜面防災対策技術協会富山県支部、公益社団法人土木学会土木史研究委員会、産業考古学会、全国近代化遺産活用連絡協議会、立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会、「立山・黒部」を誇りとし世界に発信する県民の会

開催趣旨

富山県では、関係機関や民間団体等と共同で、「立山・黒部」の世界遺産登録推進に向けて、立山カルデラの防災遺産（歴史的砂防施設群）の国際的評価の検証・確立、文化財指定の推進などに取り組んでいます。

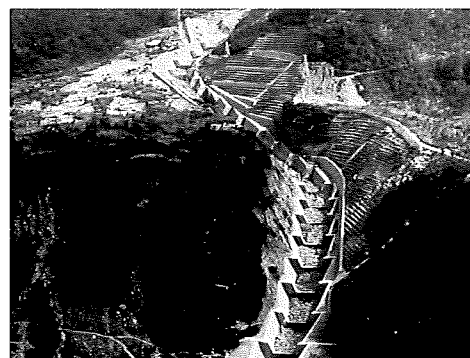
本フォーラムでは、これまでの成果を幅広い県民の皆さんにご紹介するとともに、国内外から専門家をお迎えしての講演やディスカッションなどを通して、立山カルデラの防災遺産の価値について共に学び、考えます。

立山カルデラの防災遺産（歴史的砂防施設群）

富山県の立山には、世界に類を見ない降水量に加えて、膨大な崩壊土砂が堆積する立山カルデラが存在します。この厳しい自然環境の中に、長年に亘り崩れを防ぎ、流れ出す土砂を止め、下流の富山平野に住む人々を土砂災害から守り続けてきた立山カルデラの歴史的砂防施設群が存在します。

砂防堰堤としてはわが国初の重要文化財となった「白岩堰堤砂防施設」は、昭和14年（1939）に建設され、副堤を含めると高低差が日本一（108m）の巨大堰堤です。また、昭和12年（1937）に建設された「本宮砂防堰堤」は、500万㎡という日本最大の貯砂量を誇る砂防堰堤です。

これらの防災遺産は今なお現役であり、国土保全に重要な役割を担っています。



泥谷砂防堰堤群（登録有形文化財）

参加申込（お申込み受付期限 26年10月27日（月）必着）

①HPからのお申込み

専用サイト URL <http://sabo-toyama.net>

②郵送又はFAXでのお申込み

はがき又は、下記様式に、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数（1回のお申込みで4名様まで）を明記の上、郵送又はFAXでお申込みください。

申込先

〒930-0003 富山市桜町1丁目1-36
株式会社JTB中部富山支店 世界遺産登録推進国際フォーラム2014受付係
TEL 076-431-7581 FAX 076-444-0679

※受付後、聴講券を郵送又はメール送信いたします。
なお、申込時に頂いた個人情報は、本フォーラムの聴講券及び受付のみに使用いたします。

◆交通のご案内



※公共交通機関でのご来場をお勧めします。
※駐車場は周辺の有料駐車場をご利用ください。

お問合せ先 富山県知事政策局内 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会事務局 TEL 076-444-4604

世界遺産登録推進国際フォーラム2014 立山砂防と世界の防災遺産 申込み用紙

住所	〒 -			
ふりがな				
氏名	参加人数 (4名まで)	名	電話番号	